

長野市及び青木島小学校区の子ども・子育て環境の充実について ～長野市こども“のびのび”ビジョン、青木島こども未来プラン(案)～

I はじめに

私は、市長公約として「子どもたちの夢を応援するまち」を掲げ、子育て支援の充実に取り組んできました。私自身が4人の子どもを育てる親であり、その感覚を大切にしたいと常々考えています。

昨年度は、どこに相談していいかわからなくても、ワンストップで相談に対応できる「子ども総合支援センター あのえっと」の設置や、放課後子ども総合プランの充実のための「ながのこども財団」の設立、物価高騰対策として「ながの子育て世帯臨時特別給付金」などを実施してきました。

今年度は、不登校児童生徒の育ちと学びの場となる「教育支援センター SaSaLAND」の整備に向けた準備や、子どもの福祉医療制度の対象範囲を中学卒業までから18歳年度末までに拡大するよう進めてまいります。

さらに、子ども・子育て環境の充実を図るため、長野市全体を俯瞰した大きな視点として、子どもたちが日常的に伸び伸びと過ごしたり遊んだりできる場所や環境を整えていくことが必要であると考えています。

子どもが普段の生活を送る学校が、もっと伸び伸びと遊べたり、心地よい場所にならないか。家族で訪れる公園が、もっと楽しい場所にならないか。さらには、子どもが子どもとしてあるがままに大切にされ、自分を発揮できる環境をつくっていききたいと考えています。

これらを実現していくため、まず、子どもの権利をしっかりと守り、大人が支える環境をつくるため、子どもの権利を守る条例について、議会と協力して制定を目指していきます。

また、小学校においては、子どもや保護者の視点や学校職員の意見を取り入れながら、学校の環境や機能の充実を図ります。

子どもたちが伸び伸び、わくわく過ごせる場所として、市内にはいくつかの大きな公園がありますが、子どもやファミリーがもっと行ってみたいと思える場所、くつろげる場所になるよう、様々な仕掛けやアプローチを取り入れ、魅力を高めていきます。

これらを、子どもが伸び伸びと遊び、学び、育つための場づくりや環境づくりを目指すための「長野市こども“のびのび”ビジョン」としてお示しします。このビジョンのもと、市内全体で子育てしやすいまち、「健幸増進都市」につながるよう、暮らしに安らぎとうるおいを感じる長野市をつくってまいります。

その上で、青木島小学校の周辺については、小学校や保育園、児童センターの施設が集中する面では、登園・通学や送迎がしやすい環境にありますが、一方で、放課後等も子どもが自由に遊べる環境の確保や、住宅街の狭い道路に送迎車両が多く入り込むなどの課題を抱えています。

このため、子どもの遊び場を早急に確保するとともに、子育て環境や住環境を一体的に改善していく必要があります。

そこで、子どもたちが放課後も校外に移動することなく、小学校で安全に伸び伸びと遊び、学べる環境を整えるため、小学校において十分なスペースを持った居室の確保とエアコン等設備の充実を図った上で、児童センター（1、2年生）を小学校の子どもプラザに統合し、併せて、学校に子どもたちの遊び場の機能を確保します。

また、現在は子どもプラザの保護者の駐車スペースが限られ、送迎車両が学校の校庭を通過して住宅地に入り込み、さらに児童センターの送迎車両もあり、下校児童の安全確保に課題があることから、校内の職員駐車場を移設することで、幹線道路だけで出入りできる送迎車両スペースを確保します。

青木島保育園については、老朽化が進んでおり、改修や移転新築を含めた検討を進め、保育環境の向上を図ります。また、隣接する青木島小学校も、長寿命化改修の時期を迎えており、通常であれば、校庭にプレハブ仮設校舎を新たに設置し、校庭が3年程度使えなくなるという課題があります。青木島保育園を移転新築する場合には、保育環境の充実につながるとともに、現園舎を小学校の仮設校舎として活用することで、小学校の長寿命化改修に伴う児童や学校の負担を減らすこともできるといった観点も含め、関係者と調整を図りながら進めます。

併せて、児童センターについては、地域の子育てサービスの充実を図る施設として活用を検討していきます。

青木島小学校周辺におけるこれら諸課題を一体的・総合的に解決する「青木島子ども未来プラン（案）」は、地域の皆様の御理解をいただくことが必要です。市としての案をお示しますが、実施に当たっては、地区の役員や学校関係者、保護者などの関係者と十分に相談しながら、より良いものを目指してまいります。

子どもたちが安全で伸び伸びと過ごせ、より住みよい地域となるよう、また、青木島小学校周辺が新たな子育ての拠点となるよう進めてまいりたいと考えておりますので、御理解と御協力をお願いいたします。

令和5年5月

長野市長 荻原 健司

Ⅱ 長野市こども“のびのび”ビジョン及び青木島こども未来プラン（案）について

1 長野市こども“のびのび”ビジョン

【課題】

長野市全体を俯瞰した視点として、子どもたちが日常的に伸び伸びと過ごしたり遊んだりできる場所や環境を整えていくことが必要

- ・子どもが普段の生活を送る学校が、もっと伸び伸び遊べたり、心地よい場所にならないか
- ・家族で訪れる公園が、もっと楽しい場所にならないか
- ・さらには、子どもが子どもとしてあるがままに大切にされ、自分を発揮できる環境をつくってきたい。

【進め方】

子どもの権利を守り、大人が支える環境をつくる。また、学校では、子どもや保護者の視点や学校職員の意見を取り入れながら学校の環境・機能の充実を図る。さらに、公園にあっては、中長期的な視点から、子どもやファミリーなど多くの市民が楽しみ、くつろげる場となるよう様々な角度からアプローチし、魅力ある公園を目指す。

【目的・目指す姿】

子どもが伸び伸びと遊び、学び、育つための場づくりや環境づくり
「子育てしやすいまち」、「健幸増進都市」につながる暮らしに安らぎとうるおいを感じる長野市をつくること

(1) 子どもの権利を守る施策の充実

子どもたちの権利を守り、尊重する、子どもたちの声を生かした長野市を目指します。

(2) 学校の環境・機能の充実

地域の拠点である小学校において、子どもの身近な遊び場や子どもたちの居心地のいい場を提供するとともに、学校施設を地域資源として有効かつ効果的に活用し、地域に開かれた学校にしていきます。また、将来的な学校の在り方について、子どもたちの意見が反映できる仕組みをつくっていきます。

(3) 公園の機能の充実

市内にあるいくつかの大きな公園を、子どもやファミリーなど多くの市民がくつろげる場所にしていきます。

2 青木島こども未来プラン(案)

【課題】

- ・放課後等も子どもたちが自由に遊べる環境の確保
- ・住宅街に各種施設が密集し、送迎車両が多数入り込むなど、子育て環境と住環境の一体的改善

【進め方】

諸課題を一体的・総合的に改善・解決するため、青木島こども未来プラン(案)を推進する。実施に当たっては、地区の役員や学校関係者、保護者などの地域の関係者と十分に相談しながら、より良い方向を目指す。

【目的・目指す姿】

子どもたちが安全で伸び伸びと遊べる環境の整備と周辺住環境の改善が図られ、より住みよい地域となること

(1) 子どもプラザ統合

児童センターを、学校を活用した子どもプラザに統合します。(子どもたちが伸び伸びと遊べる環境づくり)

(2) 小学校内への遊び場確保

子どもたちの遊び場としての機能を青木島小学校の敷地内に設けます。

(3) 子どもプラザ保護者の送迎用駐車スペース確保、動線改善

保護者の送迎用駐車スペースの確保と動線改善により、児童の安全確保と周辺住環境の改善を図ります。

(4) 地域等への開放

地域に開かれた学校として、社会とのつながりをさらに深める仕組みを作ります。

(5) 保育園の環境の整備

老朽化している青木島保育園の対応策を検討し、保育環境の向上を図ります。

(6) 児童センターの今後の活用

子どもプラザに統合した場合の児童センターの活用を検討します。

1 長野市こども“のびのび”ビジョン

(1)子どもの権利を守る施策の充実

※写真、イラストはイメージ

子どもの権利条約や「こども基本法」の趣旨を踏まえ、子どもたちの意見を広く取り入れた、本市独自の子どもの権利を守る条例の制定に向け、議会と協議を進めるとともに、子どもたちを念頭に置いた様々な施策を積極的に展開します。



(2)学校の環境・機能の充実

① 小学校児童や保護者が安全・安心かつ快適に放課後子ども総合プラン施設を利用できるよう、長寿命化改修と併せ、子どもプラザへの統合やプラザ棟の建設を計画します。

また、遊具等を機能的に配置し、子どもたちの遊び場の充実に図っていきます。



② 校庭等に設置する遊び場（遊具）については、子育て環境の充実に図り、地域に開かれた小学校を実現するため、地域の幼児等への開放を検討します。なお、学校の開放に当たっては、外部から自由に入出りできるエリアを区切るなど、校内児童の安全に十分配慮します。



③ 少子化による余裕教室の増加を見据えて、教室配置を再編成するなど環境整備を行い、教職員が負担とならないよう配慮する中で、学校を地域コミュニティの核とした多機能で効果的な多世代間交流などの場として提供していきます。

④ 子どもの視点から将来的な学校の在り方について考える「(仮称)学校未来 plan 子ども会議」を創設し、子どもたちの意見が反映できる仕組みをつくります。



⑤ 子どもプラザでは、小学校、ながのこども財団とともに、子どもたちに多様な体験・学びを提供し、個々の児童に応じた（適した）支援を実施するなど、地域と連携しながら、子どもの健やかな育ちを支えていきます。

○体験活動等を提供する「アドバイザー制度」の充実に図り、様々な分野の人材、団体を新たに開拓するとともに、施設の実情に応じて多様な活動を実施できる環境を整えます。

○子どもたち一人ひとりの意思や主体性を尊重し、やりたい遊びや学びなど、施設での過ごし方を自ら選択できる環境を充実させます。

- ⑥ 学校施設を活用し、学校部活動の地域移行や各種団体と連携したスポーツや文化芸術のプログラムを提供するなど、子どものスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境整備を推進します。

ア 学校開放施設の高機能化及び有効活用

- 地域移行の受け皿となる活動については、学校開放施設を有効に活用します。
- 学校開放施設について、観覧席や空調設備などを整備し、子どものスポーツ大会や文化芸術の発表などを開催する会場として活用することを目指します。

イ 放課後子ども総合プランとスポーツ・文化芸術の推進の連携

- 「放課後子ども総合プラン」では、総合型地域スポーツクラブや地域密着型プロスポーツチーム、各種文化芸術団体などが、「放課後子ども総合プラン」のアドバイザーと連携して、スポーツ・文化芸術活動に親しむプログラムを実践します。



(3)公園の機能の充実

※写真、イラストはイメージ

- ①子どもがまた遊びたいと思えるような、大型遊具で体を動かしたり、乗り物でダイナミックに楽しめたりする公園を整備します

【テーマ】公園で遊ぼう！家族みんなで遊べる公園へ！

- 人目を引く遊具があってもいいね
 - <例>・南長野運動公園では斜面も使ったダイナミックな大型遊具を設置
- いろいろな種類のスポーツができる公園がいいね
 - <例>・茶臼山エリアにスケートボード場を新設
- 気軽に安心して公園へ出かけられるといいね
 - <例>・たくさんの人が集まる運動公園に駐車場を増設
 - ・大きな公園の駐車場案内や情報を充実
 - ・ベビーカーや車椅子ユーザーなど誰もがアクセスしやすい環境に
 - ・主な公園への道順や交通手段がわかる公園巡りマップの作製
- 斜面があっても、楽しく移動できたらいいね
 - <例>・茶臼山公園にパークトレインを導入し、
 - 幼児からお年寄りまで誰もが一緒に巡れる公園に
 - ・乗り物からの眺望や四季の彩りを楽しむ絶景空間の創出
- 誰もが安心して遊べる遊具があるといいね
 - <例>・障害の有無に関わらず一緒に遊べるインクルーシブ（包括的）遊具を導入



②広場でペットと楽しく遊べる公園を増やします

【テーマ】公園で過ごそう！ペットと過ごせる公園へ！

○公園で、もっとペットと過ごせたらいいね

- ＜例＞・広々とした南長野運動公園等をペットと楽しめる公園に（公園の規模や管理体制などに応じてペットと過ごせる公園を増やし区域も拡大していく）
・茶臼山公園ではドッグランを新設



③景色を楽しめ、花や緑に囲まれ、
心を癒す憩いの時間の持てる公園を増やします

【テーマ】公園を楽しもう！お花を楽しみ、景色も楽しむ！インスタ映え～！

○公園で、もっとお花を楽しめたらいいね

- ＜例＞・「緑育の拠点」篠ノ井中央公園の花壇を一面のお花畑に

○草花に囲まれてウォーキングができたらいいいね

- ＜例＞・茶臼山公園や地附山公園では、自然や景色を楽しめる散策路をリニューアル

④Park-PFI を積極的に導入するなど、カフェの利用やバーベキュー利用ができる公園を増やします。また、遊びのテーマや様々なイベントを取り入れ、市民が長時間楽しめる公園を増やします

【テーマ】公園に行こう！家族みんなで楽しめる魅力あるイベントを！

○公園で、もっと手軽にバーベキューができたらいいいね

- ＜例＞・Park-PFI などを活用し、公園内にカフェやバーベキューエリアを設置

○公園で、歴史や文化を学べたらいいね

- ＜例＞・川中島古戦場史跡公園でデジタル技術を活用した歴史体感

○イベントの時に楽しめる遊具があってもいいね

- ＜例＞・市関連の屋外イベント、民間イベントの開催と期間限定の子どもの遊び場を設置



ふるさと納税や寄附による支援も募り、「みんなで創った公園」として
長野市の公園を進化・発展させていきます

公園施設魅力アップ事業について

都市整備部公園緑地課

目的

◇ 長野市こども“のびのび”ビジョン

<公園の機能の充実>

① 子どもがまた遊びたいと思えるような、大型遊具で体を動かしたり、乗り物でダイナミックに楽しめたりする公園

- ・ 人目を引く遊具（例：ダイナミックな大型遊具）
- ・ 気軽に安心して公園へ（例：ベビーカーや車椅子ユーザーなど誰もがアクセスしやすい環境に）
- ・ 斜面があっても、楽しく移動（例：茶臼山に乗り物導入、幼児からお年寄りまで誰もが一緒に巡れる公園に）
- ・ 誰もが安心して遊べる遊具（例：障がいの有無に関わらず一緒に遊べるインクルーシブ（包括的）遊具を導入）

② 広場でペットと楽しく遊べる公園

③ 景色を楽しめ花や緑に囲まれ、心を癒す憩いの時間を持てる公園

④ カフェやバーベキュー利用ができる公園



具 現 化

ビジョンのテーマと具体策

テーマ①

子どもがまた遊びたいと思えるような公園

○新たな要素を取り入れた魅力ある遊び場

- ・大型遊具、インクルーシブ遊具等の導入する遊びの要素を検討
- ・都市基幹公園（総合公園・運動公園）から候補地を選定
- ・遊び場の適地を選定（アクセス性、敷地の確保、トイレ、周辺環境等を考慮）

○多くの子どもやファミリーが訪れる公園の機能向上

- ・茶臼山公園におけるモビリティ導入や移動円滑化手段の検討
…市内最大48haの遊び場、年間20万人以上が来訪
- ※遊び場として潜在的なポテンシャル大きい
※移動の円滑化により公園の魅力を向上

遊び場の熱中症対策

テーマ②

ペットと楽しく遊べる公園

○犬の散歩ができる公園の拡充

○ドッグランの充実

○魅力向上に向けた検討

- ・現在の公園の魅力整理、必要な機能の整理
- ・市民や有識者の意見の反映

事業内容 (12月補正)

公園施設魅力向上調査検討業務

- 新たな魅力ある遊び場
 - ・誰もが使いやすい遊具
 - ・新たな遊びの要素の付加（現地測量・基本設計含む）
- 公園の機能の向上
 - ・茶臼山公園移動設備の検討
 - ・効果的な移動手手段など

城山公園日よけシェルター設置

- ・噴水広場における日陰の確保

犬の散歩ができる公園の環境整備

- ・城山公園犬の散歩可能区域表示

川中島古戦場史跡公園ドッグラン改修

- ・ドッグラン芝生化等

魅力アップに係る検討会議

- ・緑を豊かにする委員会開催

公園施設魅力アップ事業実施箇所

～子育て子育ての場となる公園の機能の充実～

城山公園

- 犬の散歩ができる公園の環境整備
 - 新たに犬の散歩ができる公園（ペットと遊べる公園）とする
 - 散歩可能エリア等の看板設置
- 日よけシェルター設置
 - 熱中症対策として日よけを設置（噴水広場）

茶臼山エリア

- 移動円滑化調査検討
 - こどもやファミリーにやさしいモビリティ・移動手段の導入（ベビーカー・車椅子等搭載可能な小型車両）



新たな遊び場

- 候補：都市基幹公園
昭和の森公園
南長野運動公園
など
- 新たな遊び場基本設計

- 測量 A=0.5ha
 - 障がいの有無などに関わらず誰もが使いやすい遊具など新たな要素を取り入れた遊び場の計画

川中島古戦場史跡公園

- ドッグラン改修
 - ドッグランの芝生化



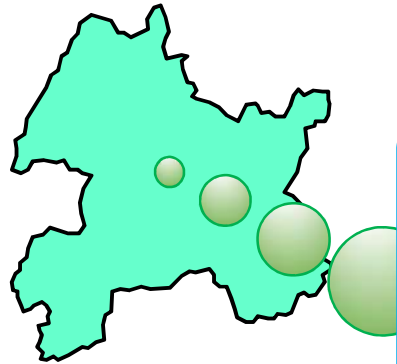
公園施設魅力向上調査検討業務

新たな要素を取り入れた魅力ある遊び場の検討

■ 検討の流れ

- 都市基幹公園から候補地を選定
- 新たな要素を取り入れた遊び場機能の検討

魅力ある遊び場の計画
(測量・基本設計)



都市基幹公園

- 総合公園
 - 城山公園
 - 昭和の森公園
 - 川中島古戦場史跡公園
- 運動公園
 - 長野運動公園
 - 南長野運動公園



大型遊具



インクルーシブ遊具

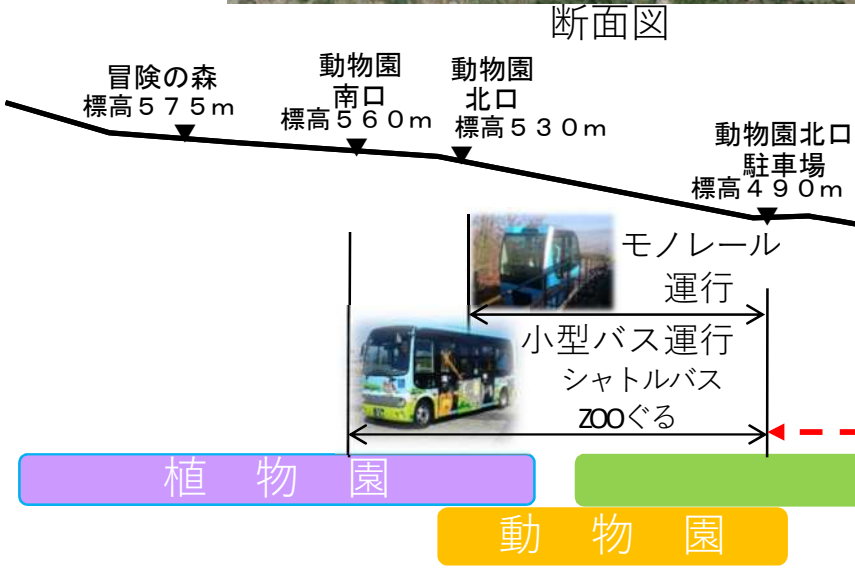
インクルーシブ遊具の事例
(障がいの有無に関わらず誰もが使いやすい遊具)

東京都砧公園 (現地の掲示板より)

多くの子どもやファミリーが訪れる公園の機能向上の検討（茶臼山エリア）



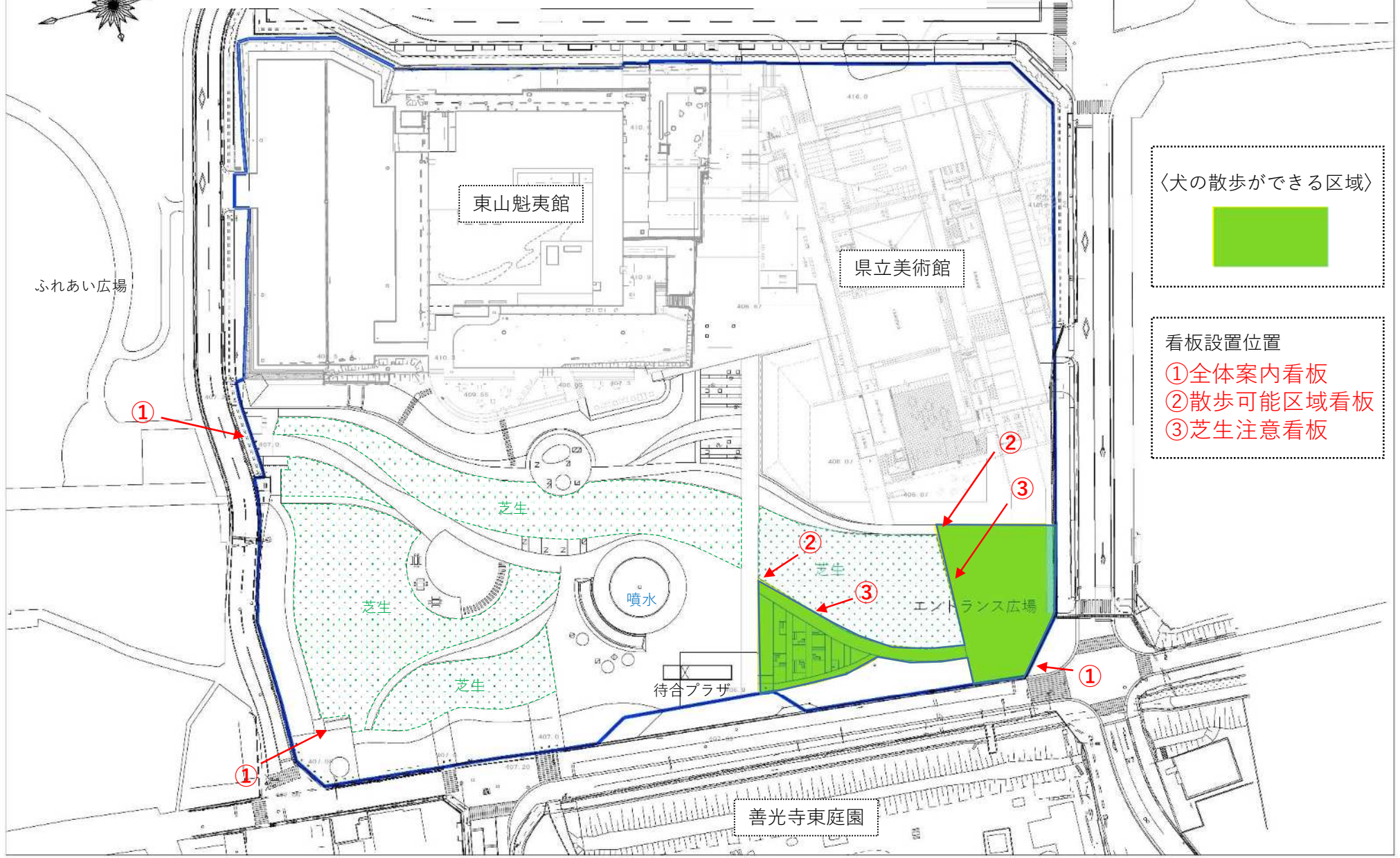
- ・ 市内で最も広い遊び場（面積48ha）
- ・ 年間20万人以上が来訪
- ・ 魅力向上のポテンシャルが高い



- 【遊び場の機能の向上】
- ・ 利用者ニーズの把握
 - ・ アクセス性向上など
利用者の目線で検討

犬の散歩ができる公園の環境整備（城山公園）

城山公園に犬の散歩が可能な区域を設定



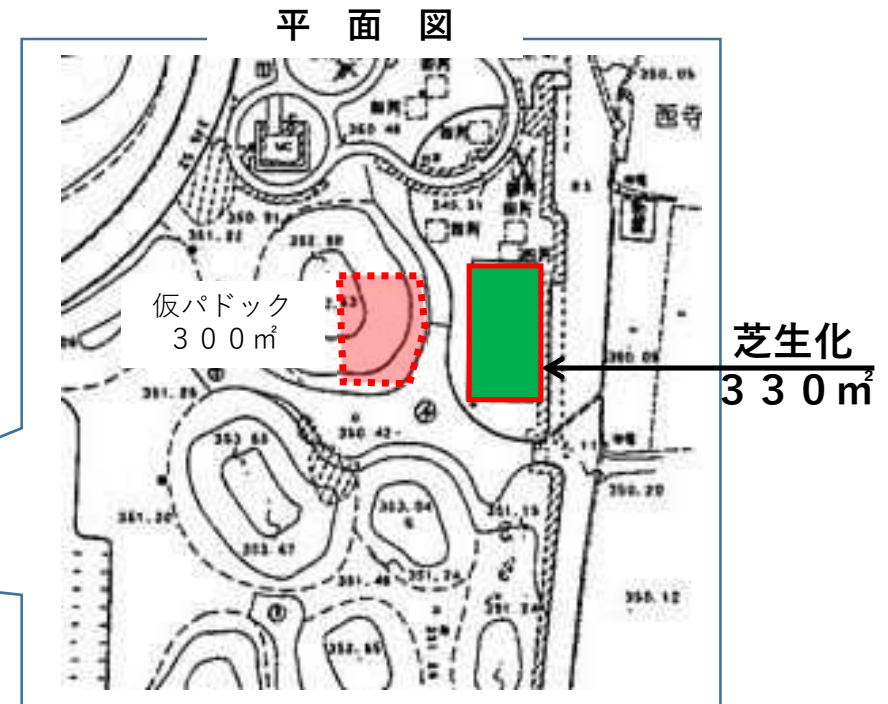
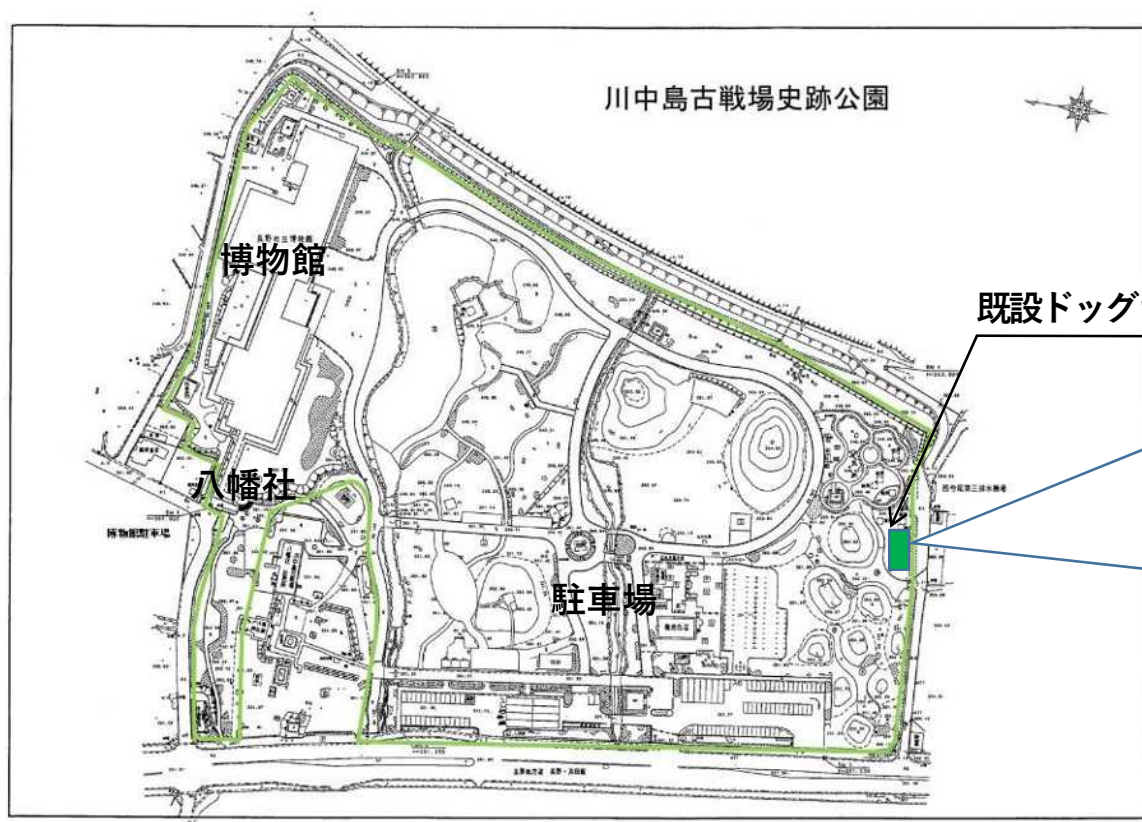
〈犬の散歩ができる区域〉



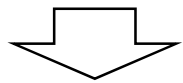
看板設置位置

- ①全体案内看板
- ②散歩可能区域看板
- ③芝生注意看板

川中島古戦場史跡公園ドッグラン改修



- 裸地のため雨上がり等ぬかるみ、
犬の体が汚れてしまう



- 隣接する芝生地を仮パドック（放飼場）に活用し
芝生化の工事を行う



日よけシェルター設置（城山公園噴水広場）

The site plan shows the layout of Jiyu Park Water Fountain Plaza. Key features include:

- 噴水広場 (Water Fountain Plaza):** A central blue circular area circled in red, with six red squares indicating the proposed locations for sunshades.
- 東山魁夷館 (Shirakawa Kamei Museum):** A large white building to the west of the plaza.
- 県立美術館 (Prefectural Museum of Art):** A large white building to the east of the plaza.
- ふれあい広場 (Fureai Plaza):** A large open area to the west of the museum.
- 水庭テラス/カスケード (Water Terrace/Cascade):** A feature between the two museums.
- 美術館エントランス広場 (Museum Entrance Plaza):** A plaza between the two museums.
- 桜並木 (Sakura Avenue):** A row of cherry trees along the top edge.
- のぼり広場 (Flag Plaza):** A plaza to the east of the museum.
- ポタッドパーク (Potter's Park):** A park area to the east of the museum.
- 歴史のある公園 (Historical Park):** A park area to the east of the museum.
- 待合プラザ (Waiting Plaza):** A plaza at the bottom center.
- 城山公園西交差点 (Jiyu Park West Intersection):** Located at the bottom left.
- 城山公園入口交差点 (Jiyu Park Entrance Intersection):** Located at the bottom right.
- 日光寺 (Nikkō-ji):** A temple located at the bottom right.



子どもに人気の噴水



夏季の日よけシェルターイメージ図



公園施設魅力アップ事業 スケジュール

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
犬の散歩ができる公園の環境整備(城山公園)	■ 工事		→ 看板等設置						
ドッグラン改修(川中島古戦場史跡公園)	■ 工事		→ 仮パドック				→ 芝生養生		
日よけシェルター設置(城山公園)	■ 委託		→						
魅力アップに係る検討会議	● 緑を豊かにする委員会	● 緑を豊かにする委員会	● 緑を豊かにする委員会(追加)	● 緑を豊かにする委員会(追加)		● 緑を豊かにする委員会		● 緑を豊かにする委員会	
公園施設魅力向上調査検討業務	→ 候補地調査(新たな遊び場)		→ 事例調査(遊び要素・移動円滑化)		→ 利用者意識調査				
	■ 委託		→						